

どきどき通信 No.15

Kikugawa City

令和4年6月発行

2022.6 No.15

菊川市内では約400か所の遺跡が静かに眠っています。遺跡はとても身近な場所にある文化財なのです。

今回は、内田小学校区内で発掘調査が行われた主な遺跡についてご案内します。

菊川市

身近に歴史を体感

内田 うちだ 地区 イラストマップ

内田地区は、弥生時代から大きく発展した地域で、古くから発掘調査が行われています。また、「塩の道」や常夜灯などの歴史遺産が、現在でも数多く残っています。



森前遺跡、森前外屋敷遺跡

奈良時代の大量の土器とともに、墨で文字が書かれた土器が出土しています。
(写真は昭和60年当時の調査)



ビューポイント



木舟遺跡、御門前遺跡

飛鳥～奈良時代の人や馬の形をした土製品が多くみられ、当時のお祭りに使われたと考えられます。



政所本屋敷遺跡

弥生時代の大規模な遺跡ですが、平安時代の石でつくられた帯飾りがみつかっています。

(詳しくは裏面へ)



応声教院

江戸時代前期の山門は、国重要文化財です

耳川遺跡

弥生時代の大きな集落と考えられ、当時では数少ない銅製品が数多く確認されています。



高田橋

菊川の背後に雄大な富士山が望めます



古川遺跡

弥生～平安時代までの各時代が確認され、弥生時代の鳥形土製品が出土しています。

(左：古川遺跡・右：木舟遺跡)

最新の情報はこちら!

